

鹿屋市国際交流協会だより

かのやし
こくさいこうりゅう
きょうかいだより

～グローバル～

2025年
3月発行 No. 32

鹿屋市国際交流協会だよりは、外国人も読みやすいように漢字にふりがなをふっています。

鹿屋市内に在住する外国人の数は毎年増加傾向にあり、昨年はすでに1,000人を超え、80数名に1人は外国人という状況です。国の施策もあり、在住外国人の増加傾向は今後もしばらく続くと思われま。一方、この急激ともいえる外国人の増加により国内のあちこちで様々な問題も発生しているようです。異なる文化や歴史的背景を持つ人々が同じ地域でトラブルなく生活するためには、互いの文化や歴史を理解し、尊重することが大切だと思います。当協会では、これからも少しずつではありますが、様々なイベント等を通して、様々な国々の文化や歴史に触れる機会を設ける活動に取り組んでまいりますので、多くの方々の参画とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

鹿屋市国際交流協会 会長 坂元 浩幸

鹿屋市国際交流協会

(KIEA : Kanoya International Exchange Association)



KIEA(キア)は、市民・民間団体・行政が協力して活動する国際交流団体です。平成8年に発足しました。外国文化の紹介や、地域での国際交流イベントなどを開催しています。

会長あいさつ

そろそろ桜の開花の知らせを耳にする季節となりましたが、市民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、かねてより当協会の活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

鹿屋市内に在住する外国人の数は毎年増加傾向にあり、昨年はすでに1,000人を超え、80数名に1人は外国人という状況です。国の施策もあり、在住外国人の増加傾向は今後もしばらく続くと思われま。一方、この急激ともいえる外国人の増加により国内のあちこちで様々な問題も発生しているようです。異なる文化や歴史的背景を持つ人々が同じ地域でトラブルなく生活するためには、互いの文化や歴史を理解し、尊重することが大切だと思います。

第32回 (令和7年度)

鹿児島県青少年国際協力体験事業 応募受付を

開始しました!

派遣先	ベトナム社会主義共和国	募集人数	2名
期間	7月19日(土)～26日(土)	8日間	
参加費用	一人25万円ほど(うち、鹿屋市国際交流協会が12万5千円を助成)		
応募方法	4月14日(月)までに、必要書類を鹿屋市国際交流協会へ提出		
参加資格	令和7年4月1日時点で鹿屋市内に住所を有する中学生、高校生、高等専門学校1～3年生であること他		



★応募方法、参加資格等の詳細は、鹿屋市国際交流協会のホームページでご確認ください。



鹿屋市国際交流協会は、個人、家族、団体の会員の皆様からのご支援をいただいで活動しています。

- ▶▶▶▶ 団体会員 ▶▶▶▶
- 株式会社 エアアイエー
 - 一般社団法人 鹿屋市観光協会
 - 鹿屋第一ライオンズクラブ
 - 鹿屋ロータリークラブ
 - 坂元通建設株式会社
 - 税理士法人 風呂井会計
 - 株式会社 森電気
 - 鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター
 - 大隅湖観光管理組合
 - 鹿屋市文化協会
 - 鹿屋西ロータリークラブ
 - 串良ロータリークラブ
 - 株式会社 新生社印刷
 - 有限会社 平成総合サービス
 - 料亭 義経
 - 有限会社 安藤製茶
 - 株式会社 オキス
 - 一般社団法人 鹿屋青年会議所
 - かのや東ロータリークラブ
 - 公文式西原小前教室
 - 大海酒販株式会社
 - 株式会社 ホテルこばやし
 - 株式会社 宇都電設
 - カイコー株式会社
 - 国立大学法人 鹿屋体育大学
 - 鹿屋ライオンズクラブ
 - 在日フィリピン人鹿屋協会(PKK)
 - 有限会社 旅くらぶ21
 - ホテル さつき苑

※50音順



会員やボランティアとして活動に参加してみませんか?

活動の様子やイベント情報は、こちらのホームページやSNSで発信しています!



ホームページ



Facebook



LINE公式
アカウント



LINEアプリの[友だち追加]から登録してください。

- 方法① 左の二次元コードを撮影
- 方法② ID検索 @478disiv

お友達になって
ください!

令和6年度の主な取組

7/21～28

第31回(令和6年度)鹿児島県青少年国際協力体験事業(カンボジア派遣)

8/3

かのや夏祭り総踊り参加

11/10

第6回外国人日本語スピーチコンテスト

6人の出場者が、日本での生活で感じたことや気付いたこと、日頃の思いなどをスピーチしました。また、鹿屋市国際交流協会からの推薦で県青少年国際協力体験事業へ参加した2人の団員が、カンボジア派遣の帰国報告を行いました。大会終了後は審査員や聴講者、スタッフを交えた茶話会で交流を深めました。



ボランティア参加者の声

かのやよしこうこう 2年 みやがはら 明依さん
鹿屋女子高校 2年 宮ヶ原 明依さん

外国人スピーチコンテストのボランティアとして参加して様々な経験ができました。準備に携わり、初めて会う方々とコミュニケーションを取りながら準備を進めていく経験ができました。外国人の方のスピーチを聞き、外国の地で大勢の前でスピーチするなんてすごいなと思いますが、流暢な日本語で堂々と話している姿に私ももっと頑張っていこうと力をもらいました。他のボランティアの人とも話すことができ、非常に充実した時間になりました。今後もこのようなボランティアに取り組んでいきたいです。

12/8

クリスマス お菓子の家づくり

毎年恒例の本イベントに、今年はスタッフを含め総勢131人が参加しました。お菓子の家づくりや、鹿屋市でタコライス専門店を開かれているデッドマン・シェインさんによる「ニュージーランドのクリスマス」の紹介、会場となった鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター(カピックセンター)のクリスマス抽選会も開催され、サンタクロースから景品を受け取った子どもたちは大喜びでした。





まえはら
前原さんご家族

お菓子の家づくりに初めて家族で参加しました。クラッカーで屋根と壁を作る時に、アイシングでくっつけて倒れないかハラハラしましたが、クッキーやチョコレートで飾りつけをして、ヘンゼルとグレーテルのようなかわいい家ができました。子どもたちも「食べるのがもったいないなあ」と言って、しばらく眺めていました。親子で作あげた喜びを感じて楽しかったです。

さんかしゃこえ
参加者の声



さんかしゃこえ
ボランティア参加者の声

かのやこうぎこうこう ねん あわや よしひろ
鹿屋工業高校 2年 粟屋 佳大さん

私がまだ幼稚園に通っていた頃、小学生の兄や姉と「クリスマスお菓子の家づくり」に参加して楽しかった記憶があります。

今回は材料を分けたり、説明したり、ボランティアとして参加させていただきました。活動する中で、懐かしく感じるとともに楽しそうに作っている様子を見て、嬉しく感じました。「ニュージーランドのクリスマスの過ごし方」の紹介など、このような国際交流の活動がこれからも続くような平和な社会であってほしいと願います。



4月～3月 みんなの異文化交流ひろば (鹿屋市との共催事業)

在住外国人と地域住民が、気軽に文化交流を行う場を設けることを目的として、月に2回程度、鹿屋市との共催により開催しました。ジャン・ダイソン国際交流員の進行により、英語や日本語で毎回テーマに沿った意見交換や文化交流を行いました。令和7年度も開催予定ですので、皆さま是非お気軽にご参加ください！

さんかしゃこえ
参加者の声

みやざと てつろう
宮里 哲朗さん

異文化交流に参加し、貴重な体験ができました。英語を通して、多くの外国の人たちと文化・習慣・歴史等について、語り合えたこと、想像を超えた経験となりました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後、更に大きな輪となり、心温まる交流の場が展開されることを期待したいと思います。





鹿屋市に暮らす外国人の紹介



名前: PRESTON CHONG JUN JIE
(外国語指導助手 (ALT))

出身: シンガポール

● 故郷のシンガポールについて教えてください。

シンガポールは、伝統と文化が1つの小さな島に集まった多民族国家です。私はあらゆる人種の友だちと一緒に育ちました。シンガポールには中華系、マレー系、インド系、ユーラシア系の4つの主要な人種がいます。私は中国人です。日本人の友だちにシンガポール出身だと言うと、「マーライオンだね」「船の形のホテル (マリーナベイサンズ)」「ガムがない!」と言われます。日本人がシンガポールに良いイメージを持っていることにいつも感謝しています。

● どのような仕事をしていますか?

2024年7月から鹿屋市教育委員会のALTとして働き始めました。吾平中学校と上小原中学校で英語の授業を手伝うほか、鹿屋市と台湾の協定校との国際交流活動を市教委でお手伝いもしています。日本ではめったに使わない中国語のスキルを活用する機会が得られます。

● あなたの学校の良いところを3つ教えてください。

1. 生徒たちはとても面白く、いつも好奇心旺盛です。私はコミュニケーションを取るのが大好きで、彼らと過ごす一日はいつも若返ったような気分になります。また、暇なときはいつもスポーツ活動に参加します。デスクワークをしているとそういうことはできません。
2. 先生方や教育委員会の同僚たちはいつもとても温かくフレンドリーです。彼らからたくさんのおやつをもらっています。また、日本の文化や教育システムについてもたくさん学びました。時々意見を共有したり、意見交換したりすることで、お互いに学ぶことが常にあります。
3. 日本の学校給食はとても健康的です。私は好き嫌いが多いのですが、学校では健康的な食事ができます。

● 鹿屋での生活とシンガポールでの生活にはどのような違いがありますか?

シンガポールは活気のある都市です。公共交通機関は効率的です。シンガポールは非常に競争が激しいですが、同時に、私は今いる場所にいるために貴重な経験と回復力を得ることができました。鹿屋での生活はとてもんびりしていて、場所はとても静かで平和で、移動も簡単です。公共交通機関は最小限ですが、ここでは車はとても手頃で、道路の混雑も非常に少ないです。時々、私たちはリセットするために田舎でのセラピーを必要とします。

● 鹿屋の好きなところを3つ教えてください。

1. いつでもアウトドアスポーツが楽しめる田舎 (陸上と海上アクティビティ)

2. 安全な道路と美しい海岸線があり、毎年バイクツアーは欠かせません。
3. 田舎の雰囲気を保ちながら、時折新しいインフラがオープンするバランス。

● 鹿屋に来て驚いたことは?

初めてここに来たときは犬のフンを踏んだのかと思ったのですが、友だちがそれは鹿屋の匂いだと教えてくれました。それ以来、匂いに慣れて、毎日楽しんでます。

● シンガポールで恋しいものは何ですか?

もちろん食べ物です! 日本に来て6年になるので、シンガポールの食べ物が一番恋しいです。コロナがおこったとき、3年間帰国できませんでした。食べ物は私たちを幸せにするので、それは最も困難な時期の1つでした。先ほども述べたように、シンガポールは多民族国家であり、あらゆる種類の料理があります。中国料理、マレー料理、インド料理、西洋料理。これを思い出すとよだれが出てきてしまいます!

● シンガポールでおすすめの旅行先はどこですか?

マーライオン、マリーナベイサンズ、ガーデンズバイザベイ、ナイトサファリ、USSなどは誰もが知っています。しかし、私は観光客に地元ホーカーセンターでの食事を体験することをお勧めします。食べ物が安だけでなく、とてもおいしいです。いろいろな種類の食べ物も見つかります。これは鹿屋では決して体験できないことです。24時間営業の屋台もあり、夜遅くに小腹が空いたときには、ホーカーセンターがほとんどどこにでもあります。とはいえ、ほとんどのホーカーセンターにはエアコンがないので注意してください。それも体験の一部です。また、チャイナタウン、リトルインディア、カンポングラムを訪れて、シンガポールのさまざまな人種を体験することもできます。

● 鹿屋の皆さんにメッセージをお願いします。

私はここに4年間住んでいて (これからもっと長く住みたい)、たくさんの良い友だちができました。いつもお世話になっています。私は昔から観光が大好きなので、皆さんと一緒に鹿屋が日本だけでなく海外からの観光客にももっと魅力的になるように働きかけていきたいと思っています。バンザイ!

